令和５年度-【様式3-1】（地方公共団体以外）

令和○年〇月〇日

環境省大臣官房地域脱炭素推進審議官　殿

住所

商号又は名称

代表者役職・氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　（公印省略）

「環境省ローカルSDGs（地域循環共生圏）」実践地域等の登録について

「環境省ローカルSDGs（地域循環共生圏）」実践地域等登録制度の趣旨に賛同し、これに登録します。

なお、書類の提出に当たり、暴力団排除に関する誓約事項に誓約します。

・　本応募にあたって、不採択の場合、実践地域等登録制度への登録を

　　　□希望します　□希望しません

（※内容を確認の上、どちらかに☑をお願いいたします。）

※採択の場合は自動的に登録されます。

　　　※回答が採点に影響することはありません。

（担当者欄）

役　職　名：

氏　　　名：

Ｔ　Ｅ　Ｌ：

E-mail：

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、下記事項について、登録に係る申請書の提出をもって誓約いたします。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、官側の求めに応じ、当方の役員名簿（有価証券報告書に記載のもの（生年月日を含む。）、ただし、有価証券報告書を作成していない場合は、役職名、氏名及び生年月日の一覧表）及び登記簿謄本の写しを提出すること並びにこれらの提出書類から確認できる範囲での個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

１．次のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。

（１）登録者として不適当な者

ア 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77 号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

イ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

ウ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

エ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

（２）登録者として不適当な行為をする者

ア 暴力的な要求行為を行う者

イ 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者

ウ 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者

エ 偽計又は威力を用いて会計課長等の業務を妨害する行為を行う者

オ その他前各号に準ずる行為を行う者

２．暴力団関係業者を当該登録に係る申請書に記載する取組内容等（取組等という。以下同じ。）に関して締結する全ての契約の相手方としません。

３．取組等に関する契約の相手方等（契約の相手方、共同事業実施協力者及び自己、契約の相手方又は共同事業実施協力者が取組等に関して締結する全ての契約の相手方をいう。）が暴力団関係業者であることが判明したときは、当該契約を解除するため必要な措置を講じます。

４．暴力団員等による不当介入を受けた場合、又は契約の相手方等が暴力団員等による不当介入を受けたことを知った場合は、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うとともに、本登録制度の担当官等へ報告を行います。